



学校や地域で活用できる!

多文化共生ワークショップ集

Workshop



2021年度 JICA横浜 教師国内研修参加者作成

参加型アクティビティ教材

独立行政法人国際協力機構
横浜センター(JICA横浜)

目次

教師国内研修とは	04
日程 / 参加者一覧	05
あなたにとって多文化共生とは？	06
ワークショップ：グルーピングダブル	07
解説書	08
グルーピングダブルカード	11
ふりかえりシート	21
多文化共生について 児童生徒に伝えたい！	22
多文化共生について 教員に伝えたい！	23
ワークショップ：たぶん、か	24
解説書	25
外見カード	29
行き先カード	33
内面カード	37
ワークショップづくり実践などについて 教員に伝えたい！	49

ワークショップに関するデータ掲載 URL：
https://www.jica.go.jp/yokohama/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/report_2021.html

教師国内研修とは

1. 研修概要

教師国内研修は、講義、インタビュー、フィールドワーク等を実施し、その経験を国際理解教育・開発教育の実践に役立てていただくための研修プログラムです。
 (「教師海外研修」の代替研修として実施いたします)

2. 研修のねらいとゴール

世界でも、地域でも、そして学校でも、誰もが安心して暮らせる「誰一人取り残さない」社会づくりにかかわる問題には、共通するものがあるはず。本研修では、多文化共生社会、持続可能な社会の実現を目指し、世界、国内、地域の問題を自分事として捉えて、まずは教室から実践できる次代を担う子どもたちを育成することをねらいとします。

日本から海外に渡った日本人移住者の歴史や、海外から日本に戻ってきた人々の暮らし等に触れることを通して、多文化共生について理解を深めていただきます。研修で得た知識や経験をもとに、「持続可能な社会」「誰一人取り残さない」をテーマとした参加型学習教材(ワークショップ)作成を研修のゴールとします。

3. 応募資格

神奈川県と山梨県の学校現場で国際理解教育・開発教育に取り組んでいる、または関心を持ち、研修および報告会の全日程に参加可能な教員等で、所属長の推薦が得られる方。

4. 研修期間

2021年7月～2022年3月 全8回と国内フィールドワークを実施



日程

	日程	行程	内容
1回目	7月3日	オリエンテーション	研修内容の確認、チームビルディング
2回目	7月10日	開発教育	「開発教育教員セミナー基礎編」への参加
3回目	7月17日	日系人	資料館見学、日系ゲストトーク
フィールドワーク	8月7日、8日	多文化共生	いちょう団地、愛川町、鶴見地区でのフィールドワーク
4回目	8月21日	多文化共生	多文化共生、ワークショップ体験
5回目	9月4日	ワークショップ作成	ワークショップの作成
6回目	9月18日	ワークショップ作成	ワークショップの作成
7回目	10月2日	ワークショップ作成	実演&フィードバック会
-	10月～12月	各自授業実践	各所属先にて授業実践
8回目	1月16日	ワークショップのブラッシュアップ	ワークショップのブラッシュアップ
報告会	2月20日	報告	「SDGsよこはま」で最終報告会

参加者一覧 (五十音順)

氏名	学校名	学年・担当教科
菊池 史織	公文国際学園中等部・高等部	中等部2年 英語
金城 裕哉	横浜市立高田東小学校	5、6年 外国語
小島 寛子	横浜市立横浜商業高等学校	1～3年 英語、国際
鳥原 大嗣	横浜市立東野中学校	2年 数学
三枝 涼輔	横浜市立梅林小学校	特別支援学級
森 倫範	横浜医療専門学校	生物学
渡辺 香	横浜市立長津田小学校	6年 英語、習字

あなたにとって多文化共生とは？

多文化共生と聞くと外国へのつながりを考えてしまうかもしれませんが、「文化」は誰もが持っているものです。様々な文化に触れ、寄り添い、受け入れていくことが、多文化共生につながると考えます。

三枝 涼輔

違いを自分事として捉え、相手の立場に立って、相手を思いやること。

鳥原 大嗣

多文化とは自分の知らない世界を見せてくれる「窓」、共生のために「窓」はいつも開け放ち風通し良く、何のガラスも通さず自分の目でまっすぐ見ること、そして見たことを受け入れること。

小島 寛子

一人一人が安心して、いつもの自分でいられる状態です。お互いの大切にしていることを尊重し合いながら、同じ時間や空間を共有出来たら、幸せを実感できる人が増えると思います。

渡辺 香

「支援する側・される側」というような二極構造の世界ではなく、社会生活の中で出会う人、かかわる人は、共に未来を創っていく「仲間」であると誰もが信念をもって行動している世界。

金城 裕哉

生活環境や家族構成は個々に異なり、よって考えや思いも大なり小なり違います。相手のことを全て理解することは困難ですが、互いに気持ちに寄り添い思いに共感すること、意見を共有し合意することが肝要と考えます。

菊池 史織

私にとっての多文化共生とは「相手を想う優しい気持ちを、現実の行動へ移せること」だと考えます。

森 倫範



● グルーピングダブル ●

～だれひとり、とりのこさない～

ワークショップのねらい

- 積極的に他者と関わり、心の距離を縮める
- 自身の持つ考え、価値観を見つめるきっかけとする
- ものごとを広い視点・視野でとらえることができる

概要

フランス発祥のカードゲームにヒントを得て作成したワークショップです。2枚のカードに、どの組み合わせでも必ず同じイラストがあります。自己紹介や、好きな食べ物、好きなアニメ、好きな教科の話をしてからゲームをすることで少しずつ相手との仲が深まり効果的なアイスブレイクとなります。

カードの中心には一つのイラストが他のイラストよりも大きく描かれています。そのイラストをヒントに状況に合わせた人数でのグルーピング＝班編成が可能となっています。

次に、編成された班でグルーピングについて意見を交わすことで、自分の意見との相違に気付くことができます。自分と同じ考えに安堵したり、これまで気づけなかった新しいものとのとらえ方を知り、驚いたりするでしょう。どのようなグループを作ったのか意見を発表し、クラスで共有することで、より多くの気づきが得られると考えます。

新たな観点でものごとをとらえる一つの大きなきっかけになればと願っています。

教材内容

- ふりかえりシート
- グルーピングダブルカード(55枚1セット)
- グルーピングダブルカードに描かれたイラスト一覧

ダブルは55枚の円形のカードです。それぞれに50種類以上のマークのうちから8つが描かれています。どの組み合わせでも2枚のカードに共通したイラストが必ず描かれています。

私たちが作成したグルーピングダブルは、それぞれのカードに8つのイラストが描かれているところは同じですが、真ん中に位置するイラストは大きくしてあります。この大きなイラストを用いてグループ分けをすることもでき、活動班の人数は、授業者が設定できるようになっています。

所要時間	50分	準備するもの	グルーピングダブルカード グルーピングダブルカードに描かれたイラスト一覧 ワークシート
1グループの人数	4~6名		

※グルーピングダブルカード(第2世代)

グルーピングダブルカード(初代)での実践をもとに、グルーピングが誰でも容易にできることを目的として、イラストの再考を行い完成した。グループは、ボール・食べ物・花・野菜・洋服・虫・うみの生き物・陸の生き物・鳥の9つ。1グループ6つのイラストが割り当てられているので、このカードを用いてグルーピングすることで最大6人の班を9つまでつくることできる。9つのループの他に、グルーピングに話し合いが生まれそうなキャラクターを「間キャラ」として3つ(やどかり・くじら・かたつむり)設定した。

■進め方

<p>導入</p>	<p>アイスブレイクのために、クラスでダブルを行う。</p> <p>ファシリテーターの動き ダブルカードの説明をする。 一人1枚グルーピングダブルカードを配る。</p> <p>参加者の活動 ダブルを行う(はじめに時間を指定する)。</p> <p>①自己紹介のあと、与えられたテーマについてお互いに意見を交わす。 例:好きな食べ物、好きなアニメ、好きな教科</p> <p>②自分のカードと友達のカード、どちらにもあるイラストを見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>新しい発見はあったかな？ できるだけたくさんの人とダブルをしてみよう。</p> </div> <p>クラス全体で関わるができるようにする。</p> <p>※応用1:勝ち抜きダブル ダブルで対戦して同じイラストを早く見つけた方が勝ち。負けた人はダブルカードを渡す。 時間内で最も多く獲得した人が勝者となる。</p> <p>※応用2:あいうえおダブル 真ん中のイラストを日本語で表す。あいうえお順に並べる。 タイムを計測していく。もしくは、同条件の他のクラス、ユニットとタイムを競う。</p> <p>※応用3:アルファベットダブル 真ん中のイラストを英語で表す。アルファベット順に並べる。授業の始めに毎回行い、 タイムを計測していく。もしくは、同条件の他のクラス、ユニットとタイムを競う。</p>
<p>展開① (10分)</p>	<p>ダブルカードの真ん中のイラストを用いてグルーピングを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>グループで集まりましょう。 カードの真ん中のイラストがヒントです。</p> </div> <p>ファシリテーターの動き グルーピングを促す。 グルーピングの様子を見て、必要であれば声がけをする。</p> <p>参加者の活動 カードを見せ合いながら、グループで集まる。</p> <p>どのような班ができるのか、いくつできるのか、想定されるような発言をしないようにする。</p>

	<p>※応用1:活動の際の発話を制限</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>グループで集まって下さい。 ただし、ここからはおしゃべりはできません。</p> </div> <p>単純な活動なので、非言語活動としても目標は達成できる。 発話できることでコミュニケーションがいかに容易になるかを体感させたい。</p> <p>発話が制限されている時、意思疎通においてどのようなことを感じたか、班で意見を交わす。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>話しができないことで、どんなことを感じましたか？</p> </div> <p>発話が制限されることで、意志疎通においてどのような違いがあったか、 その違いをどのように感じたかを意識できるようにする。</p> <p>発話によりコミュニケーションがいかに容易、有益になるかを認識し、 この後の活動において積極的に考えを伝え合うように働きかける。</p>
<p>展開② (5分)</p>	<p>全体でグルーピングの確認を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>リーダーを決めて下さい。 みんなは何のグループですか？班に名前をつけましょう。</p> </div> <p>ファシリテーターの動き クラス全体の様子を見ながら、着席を促す。</p> <p>参加者の活動 グルーピングした者同士で班を作り、着席する。 リーダーを決め(、班の名前を考える)。</p>
<p>発展 (20分)</p>	<p>まず、個々にグルーピングを考える。 班でグルーピングを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>グループってそれだけかな？ たくさんいるのにひとりぼっちだったらどんな気持ちだろう。</p> </div> <p>ファシリテーターの動き 本時の活動で使用したイラスト一覧(もしくはグルーピングダブルイラスト一覧)を班ごとに配る。</p> <p>参加者の活動 自分のグルーピングについて考える。 自分の考えを発表し、班でグルーピングについて考える。 班の考えをクラスのみんに発表する。</p>

■ボール

なるほど! と思う考えはあったかな?

見方が広がると、味方が増える。視覚的な情報や、既知の事実だけにとらわれずに、物事を柔軟に多角的にとらえることができるように働きかける。

※応用1

- ロイロノートを使用してグルーピングを行い、意見を共有する。
- ロイロノートにて、57のイラストを個々のカードとして送る。
- シンキングツールを使ってグループ分けを行い、考えを記す。
- 提出したものを共有し、同じカードを使用してグループ分けを行った際の相違について認識する。

まとめ
(5分)
ふりかえりシートを記入する

ファシリテーターの動き

ふりかえりシートを配る。
共有したい考えがあれば、その場で発表させる。

参加者の活動

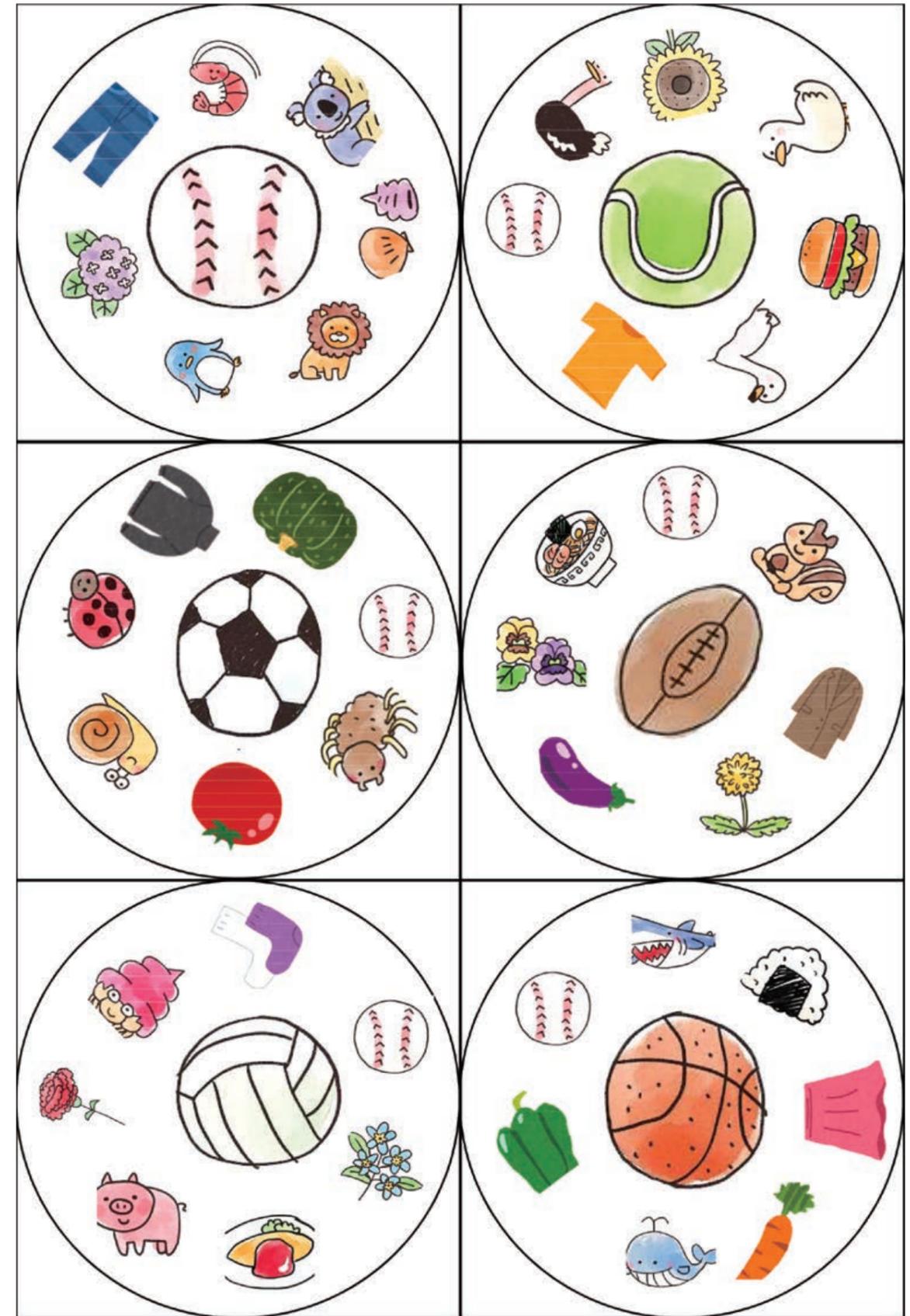
今日の活動をふりかえり、個々にシートに記す。

実生活においても人とつながりを持つときに、

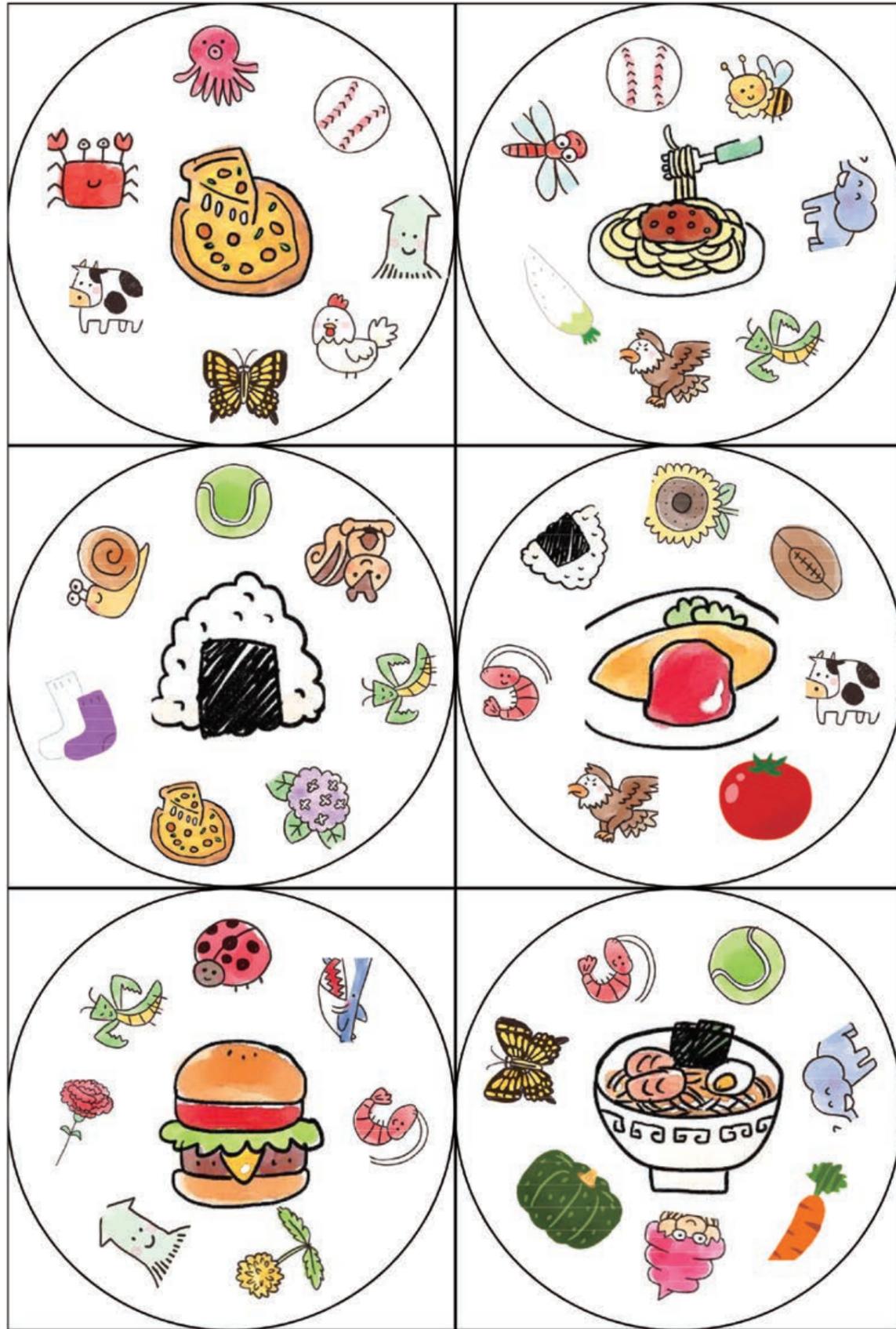
「多様性」のあるとらえ方、考え方ができるような気づきを共有したい。

イラスト出典：「いらすとん」<http://www.irasuton.com/>

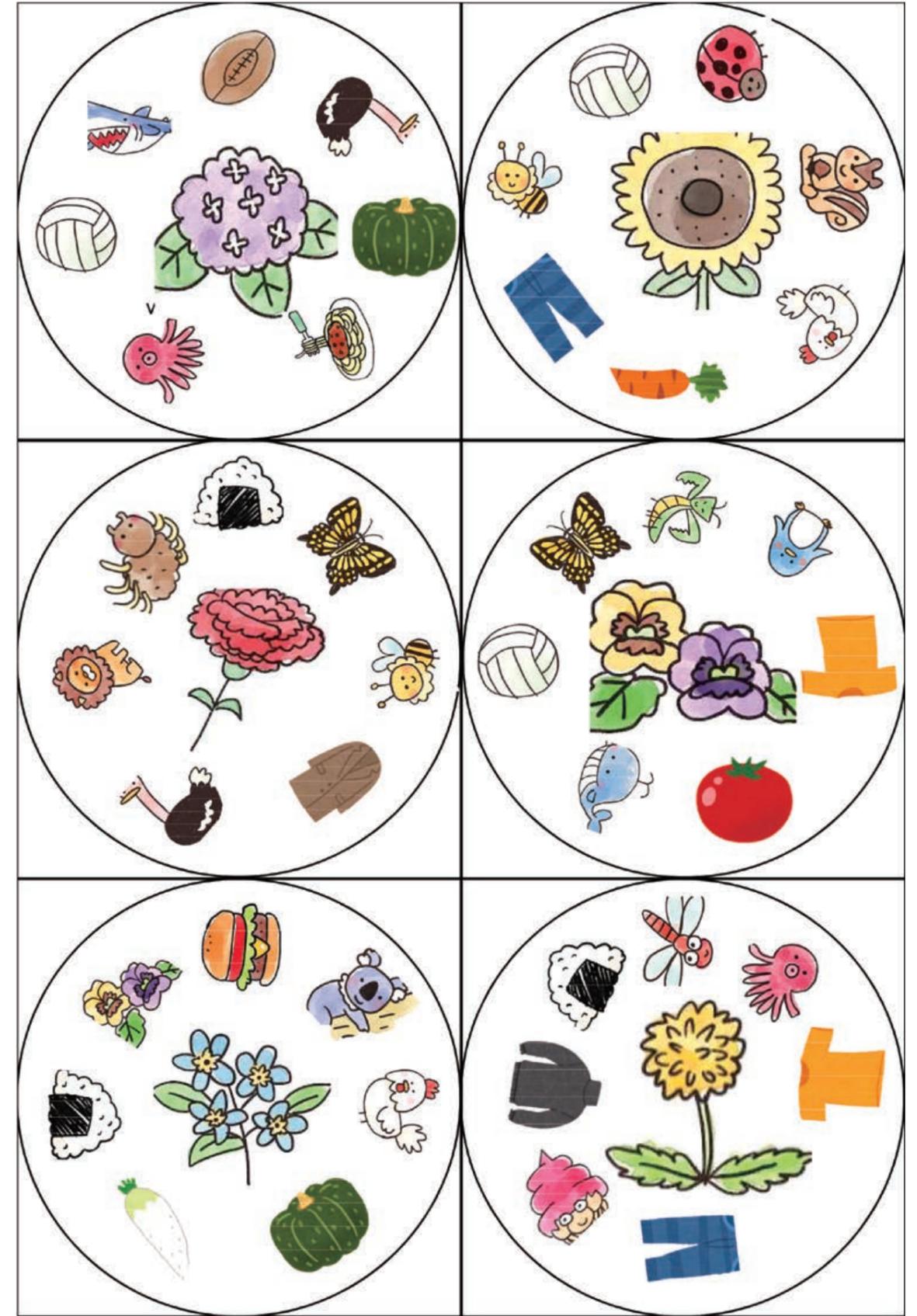
■イラスト一覧

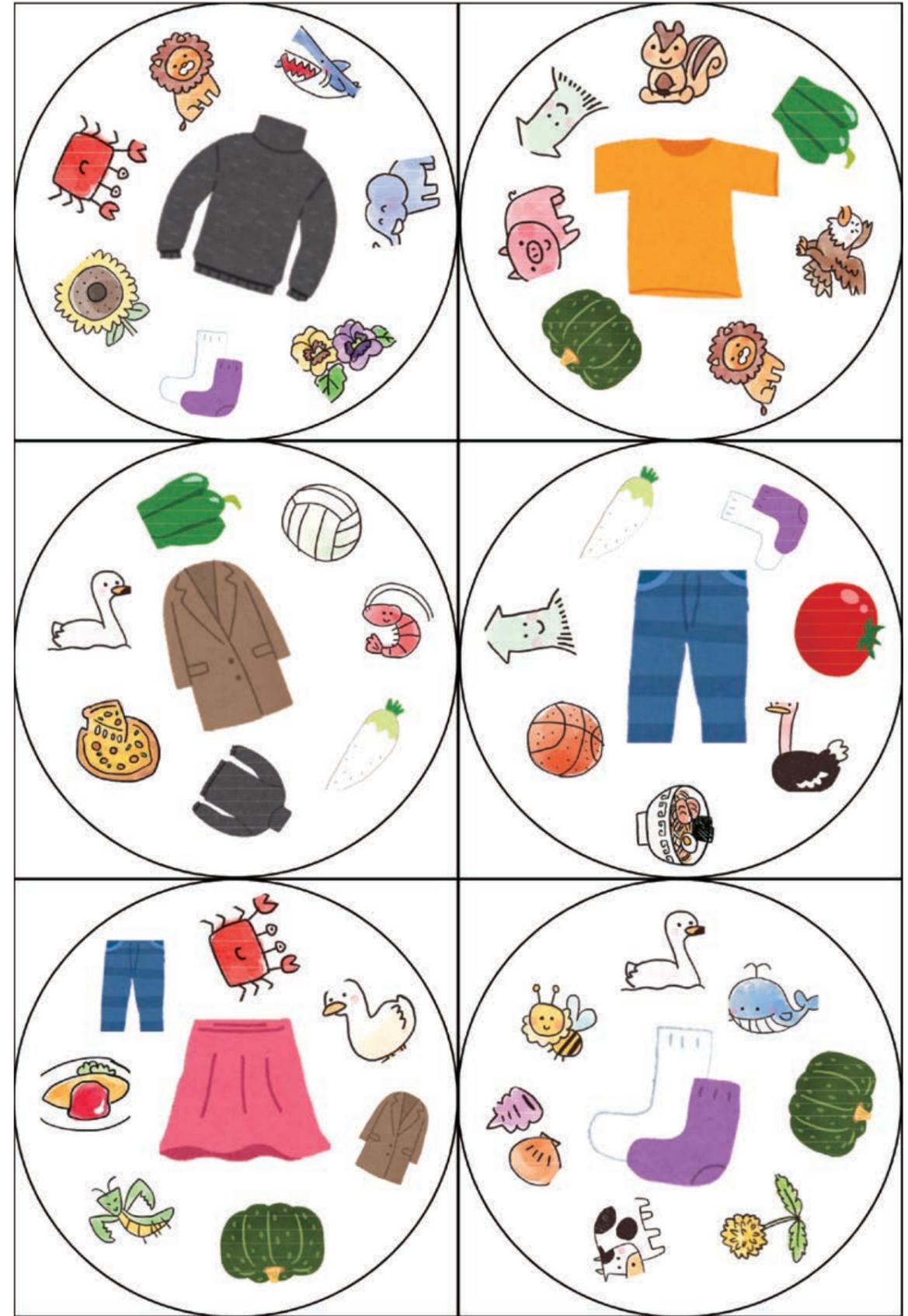
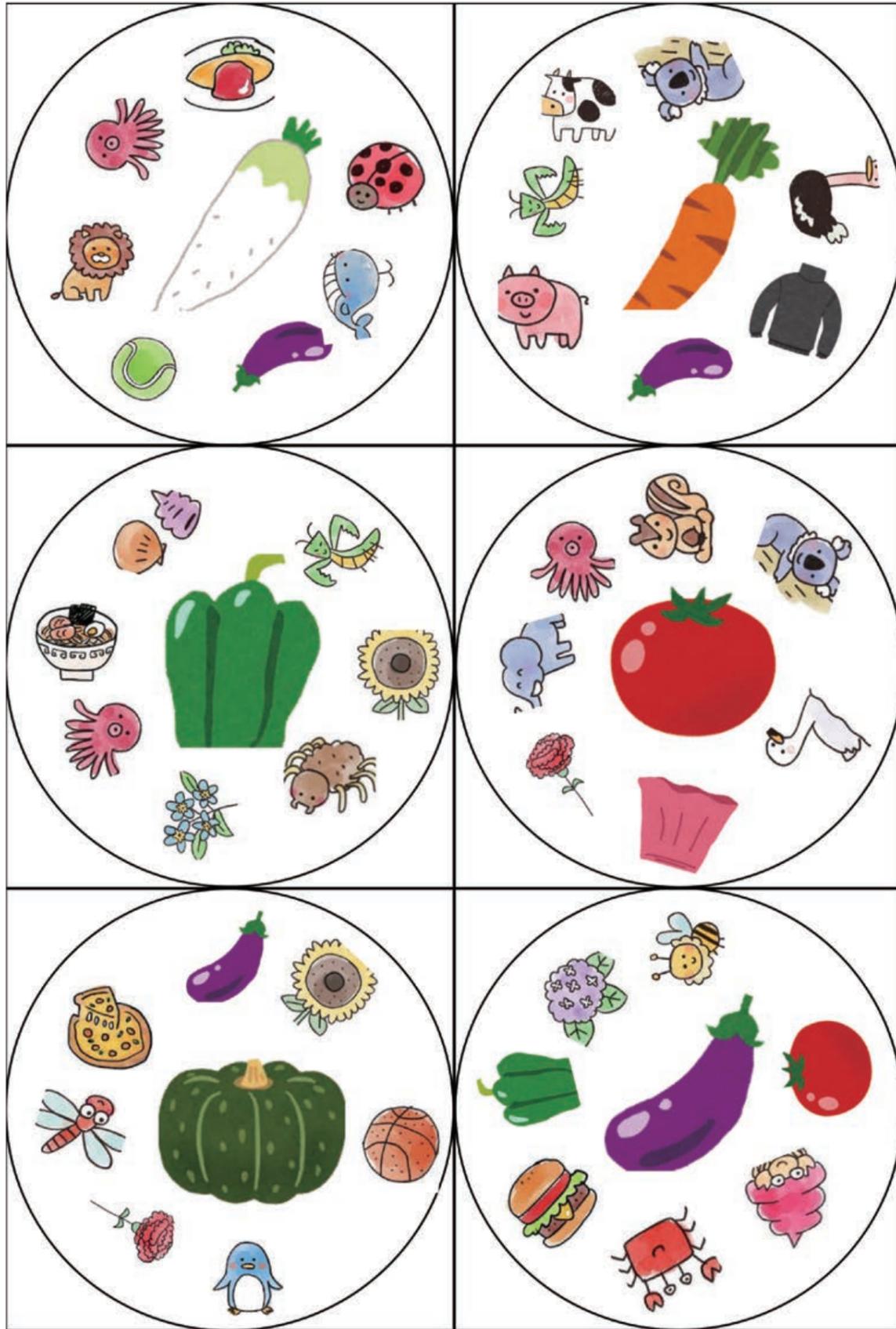


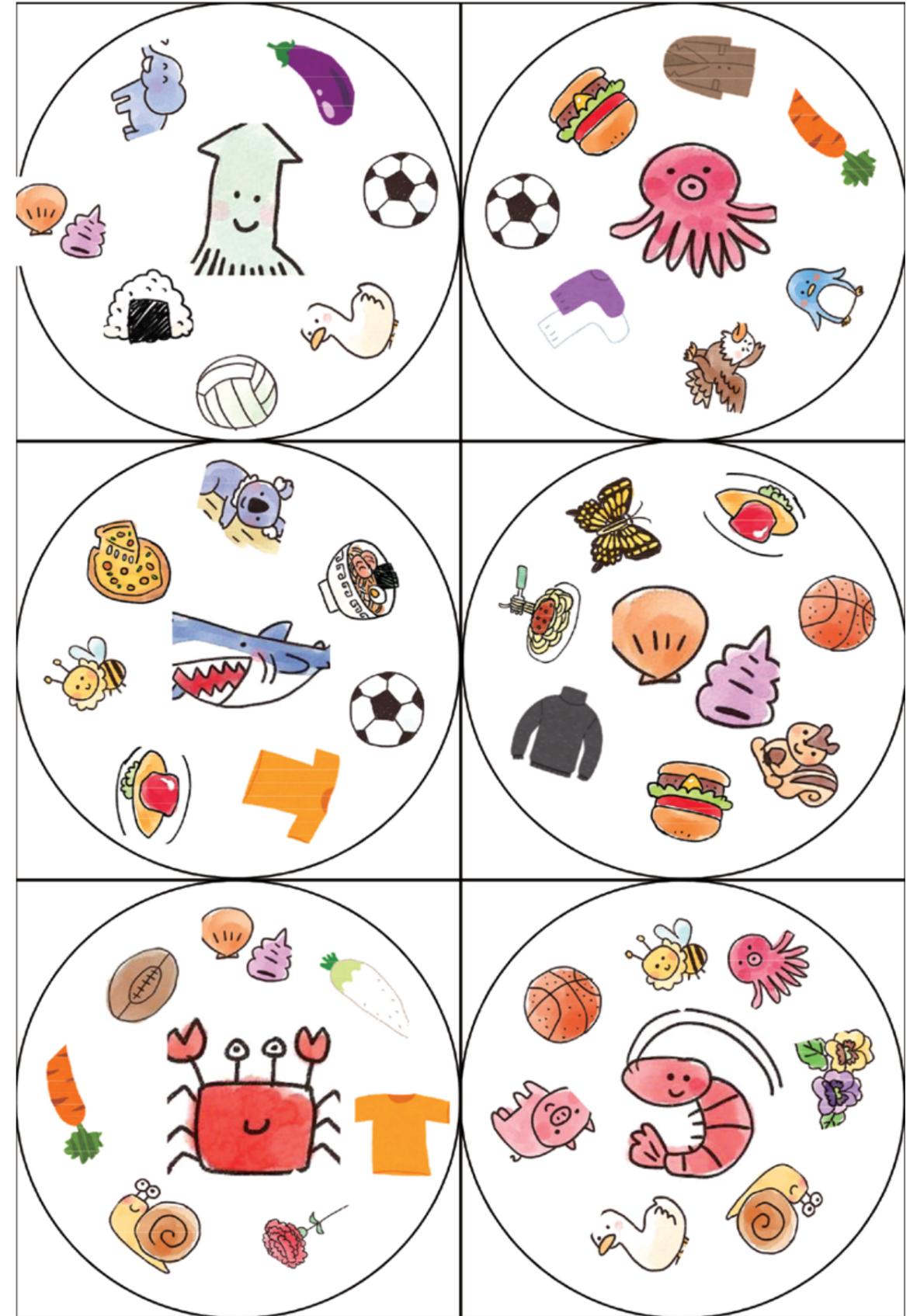
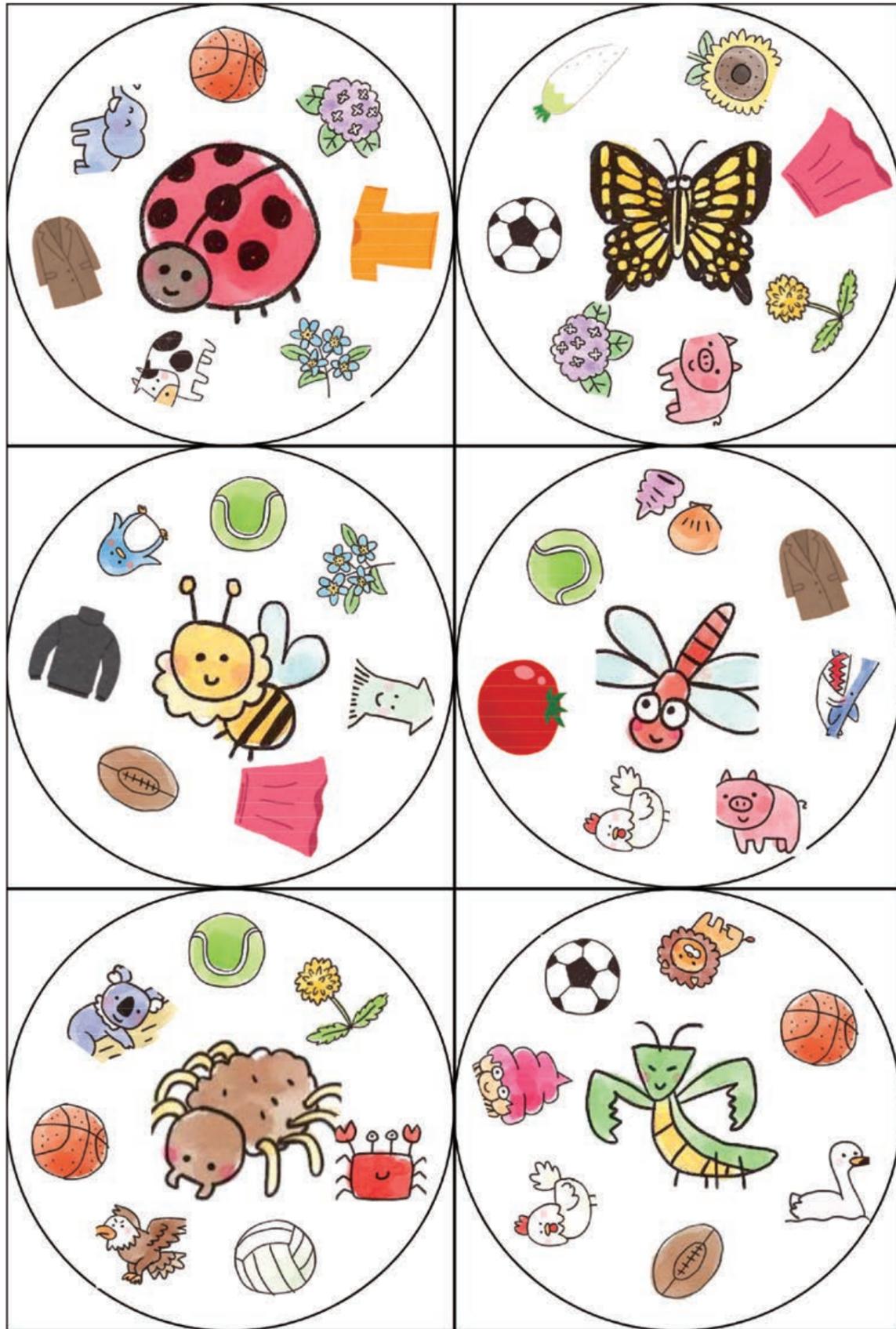
■食べ物



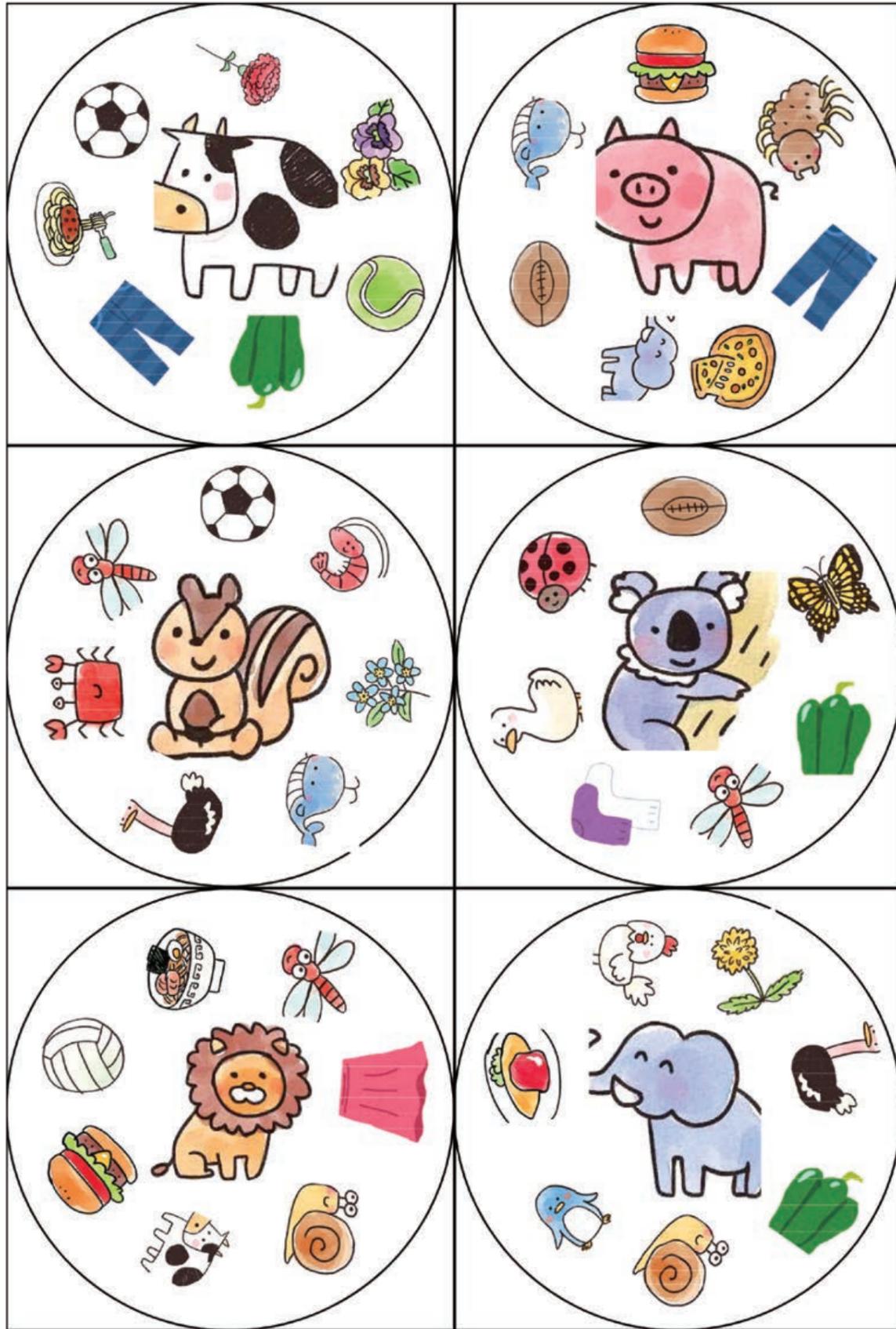
■花



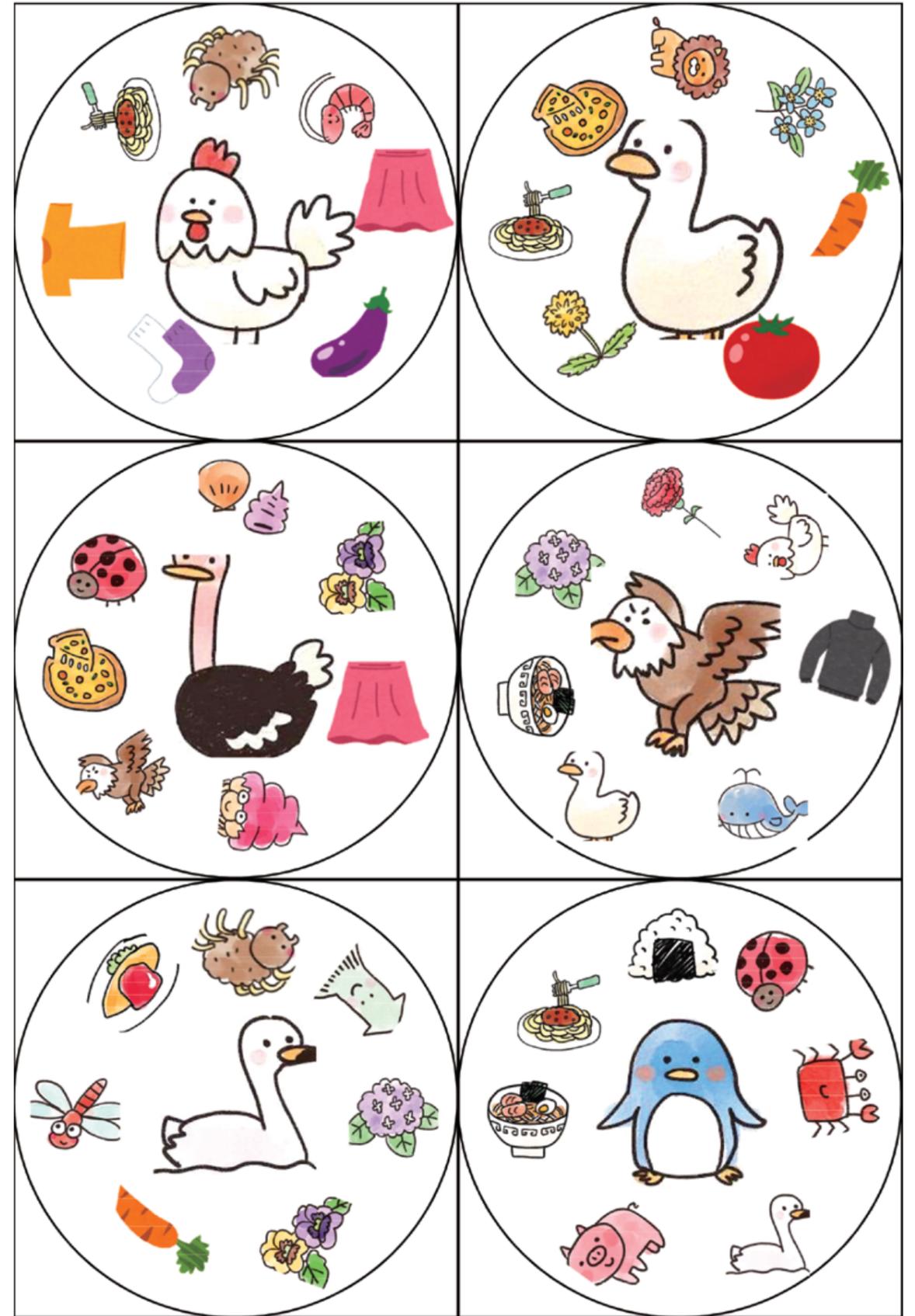




■陸の生き物



■鳥



グルーピングダブル ふりかえりシート

年 組 番号 名前

1. 「なかま」と「グループ」のちがいは何ですか。

2. グルーピングの中にびっくりするものや、なるほどと思うものはありましたか。

3. 今日の活動を通して感じたこと、考えたことを書きましょう。

4. グルーピングでみんなの意見を聞いてみたいものはありますか。

多文化共生について 児童生徒に伝えたい!



「異文化」ではなく「多文化」、「共存」ではなく「共生」であることについて、自ら考えてみましょう。自身の考え、行動が自身を取り巻くすべてとその未来につながっています。他者があってこそ自分で、また自身の理解なくして他者理解はありません。自分とみんなに対してより積極的に なりましょう。

菊池史織



自分にとって 安心・安全な居場所、環境、社会を求めるのならば、人とかかわりを面倒くさからなくて、ちょっとでもいいから他者に興味をもって接してほしいです。他者とかかわった分だけ、自分をよく知ることができます。グローバルな世界で「共に生きる」ためには、自分への気づき・理解は欠かせないと思います。

金城裕哉

たくさんの人と関わってみてください。コロナで海外に行くことが難しい昨今ですが、日本国内にも様々な人がいます。まずはその人たちを知ろうとすること、知るために関わってみることを億劫だと思わず一歩踏み出してほしいです。その先にきっと明るい世界があるはずです。



小島寛子



「多文化共生」と聞くと、日本と違う国に想いを馳せなくてはならないように感じるかもしれませんが、しかし、国籍、宗教の違いだけでなく、教室の中にも自分と違う価値観や考えをもった人がたくさんいます。自分の身近にいる違った価値観をもつ人と互いに認め合うことも立派な多文化共生だと思います。

鳥原大嗣



自分の家のみそ汁の具材や作り方を友達と話し合ってみてください。きっと、具材がちがいます。ダシがちがいます。そもそも、みそ汁を飲まない、みそ汁を知らないかもしれません。それも「文化」です。文化に、普通、当たり前はありません。お互いの文化を認め合い、受け入れていきましょう。

三枝涼輔

自分を大切にしよう。家族を大切にしよう。友達を大切にしよう。自分の大切なものと同じくらい、他の人の大切な人やものも大切にしよう。



渡辺香

私が教育に携わる学生には、社会人も含まれており「子ども」とは言い難い年齢です。しかし、その学生達に伝えたいことを多文化共生の実践から学びました。相手の社会的背景に関わらず相手を想い、優しさを持って相手の求めるものに答え行動に移せることの大切さを伝えたいです。



森倫範

多文化共生について 教員に伝えたい!



医療関係職では、相手＝患者です。その患者が訴える言葉の意味や、表現できない内容を汲み取る能力は、学生に気付いてもらいたい内容です。教員の皆さんには、相手を想い、訴えを汲み取り、実際に行動する「多文化共生の概念」を持って、さらに自分で成長できる学生を育てて欲しいと伝えたいです。

森倫範

私は、この研修を通して、多文化共生とは、国や地域で分類されたり、分断されたりするものではないということを知りました。文化とは、一人一人がもつ歴史や個性だと今では考えています。これから先も自分の身近な人のことを想うことから多文化共生について考えていきたいと思っています。



渡辺香

文化は見た目だけではわかりません。話さなければわからないこともあるし、見た目で勘違いされてしまうこともあります。子どもにとって親の次に関わる機会が多い大人が先生です。まずは、我々が様々な文化を受け入れましょう。何でも話せる、話したくないことは話さない、雰囲気づくりが大切です。



三枝涼輔



生徒が学ぶ教室の中だけでなく、職員室の中、私たちの日常の人間関係の中にも様々な価値観があふれています。多文化共生について学ぶことは、物事を「自分事」として捉えるきっかけとなり、子どもたちのためになるだけでなく、自分自身の人間的な成長につながると思います。

鳥原大嗣

他人事だと思わず、自分が気がついていないだけで困っている児童・生徒がいるかもしれないと考えてみてほしいです。その心がけが児童・生徒に寄り添えるきっかけをつくると思います。



小島寛子



立場、家族、生活環境、性格の違い等、「違い」はいつも簡単に目に入ります。「違い」が必要以上に区別されたり配慮されたりすることがない環境を保つことは容易ではありません。自己開示できる空間・関係作り、互いを尊重し対等に向き合う姿勢を私たち教員が先頭に立ち見せることが大切だと感じます。

菊池史織

ある子が「男子トイレではなく、多目的トイレを使いたい。」とお願いしてきたら、ある子が「体育の着替えは別室にしたい」とお願いしてきたらどうしますか。規則に従わせることも理由を尋ねることも多文化共生には程遠いと、私は思います。指導よりも前に共感、共有が先にあると、安心・安全な環境が創れると思います。



金城裕哉

● たぶん、か ●

～みんなて、遊びに行こう～

ワークショップのねらい

- 自分の周りにも外見からは分からないが、悩みや不安を抱えた人がいることに気づく。
- 外見からは分からない悩みや不安を理解するために、自分にできることを考える。
- 外見からは分からない自分が抱えている悩みや不安を、相手に伝えようとする。

概要

私たちは JICA 横浜の教師国内研修で、日系人や日本人海外移住者、外国につながる子どもたちなど、マイノリティーの人々が、周りの人と違うことで不安な気持ちを抱いたり様々な苦勞をされたりしていることを知りました。そのような人々が「助けるべき存在」としてではなく、対等な存在として生きることのできる社会、多文化共生社会を目指すにあたり、「私たちにできることは何だろう。」と考えました。その結果、「違いを自分事として捉え、相手の立場に立って、相手を思いやること」の必要性、重要性に行き着きました。

誰しも外見からは分からない人には言いにくい悩みや不安があります。このワークショップ「たぶん、か」では、参加者に外見からは分からない悩みや不安を抱えた人物になりきって、遊びに行く場所を決めるというロールプレイを行なってもらいます。活動を通して、自分の周りにも悩みや不安を抱えている人がいるかもしれないということ、そういった人たちのために自分ができることを考えるきっかけにしてもらうことがねらいです。そして、このワークショップを通して「違いを自分事として捉え、相手の立場に立って、相手を思いやること」ができる人が増えていけば、多文化共生社会を創ることは、「たぶん、可」能になると思います。それが、このワークショップ「たぶん、か」に込められた私たちの願いです。

教材内容

- 外見カード
- 内面カード
- 行き先カード
- 振り返りシート

所要時間	50分	準備するもの	外見カード、内面カード 行き先カード、振り返りシート
1グループの人数	4~6名		

■進め方

<p>導入 (3分)</p>	<p>参加者を1班 4~6名のグループに分け、座らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>人には外見からは分からない、人には言いにくい悩みや不安があると思います。みなさんの中にも、そういう経験がある人がいるかもしれません。</p> <p>そこで、本日の授業では、『外見からは分からない悩みや不安に気づき、日常生活の中で自分にできることを考える。』というテーマで、活動します。</p> </div>
<p>なりきり自己紹介 (5分)</p>	<p>外見カードの説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>今からこの班の中で外見カードのキャラクターになりきって自己紹介をしてもらいたいと思います。今から、先生がお手本を見せますね。</p> <p>自己紹介の模範演技披露</p> <p>それでは、みなさんも外見カードのキャラクターになりきって自己紹介を試みてください。</p> </div> <p>外見カードの配布となりきり自己紹介 外見カードを配布して、参加者に1枚ずつ引いてもらい、自己紹介をしてもらう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>参加者の活動</p> </div> <p>外見カードを用いて自己紹介をおこなう。(2分間)</p>
<p>内面カードの説明と配布 (5分)</p>	<p>内面カードの説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>次に内面カードを引いてもらいます。内面カードには、その人の悩みやその人が抱えている事情が書かれています。人が内面に抱えている事情は目に見えないものなので、絶対に相手に見せないようにしてください。もし、内面カードの内容が理解しづらい、表現しにくいと感じたりした場合には、1回までは引き直しても構いません。</p> </div> <p>内面カードの配布 内面カードを配布し、参加者にひいてもらう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>参加者の活動</p> </div> <p>内面カードをひく。</p>

<p>行き先の相談 (5分)</p>	<p>行き先カードの配布とルールの説明 行き先カードを配布する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>手元にある行き先カードが、班で遊びに行く場所の候補地です。今から外見カードと内面カードの人物になりきって、出かける場所を相談してもらいます。内面カードの内容は人には知られたくない内容なので、絶対にそれを話したり、説明したりしないでください。それでは、話し合いを始めてください。</p> </div> <p>参加者の活動 外見カード、内面カードをもとに行き先を相談する。(3分間)</p> <p>※ファシリテーターは、ここでの目的が競争かつ1つの場所に決めることではないことに留意する。</p>
<p>一言振り返り (8分)</p>	<p>一言振り返りの説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今から班のメンバーがどんな悩みや事情を抱えていたのか共有しましょう。後ほど、みんなで一斉に内面カードを見せ合うので、まずはカードを見せずに自分の班のメンバーがどんな悩みや不安を抱えていたか予想してみてください。</p> </div> <p>参加者の活動 内面カードの内容を互いに予想し合う。(2分間)</p> <p>内面カードの確認と振り返りの共有</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>それでは、今から一斉に内面カードを見せ合ってください。</p> </div> <p>参加者の活動 互いの内面カードを見せ合い意見を交換する。(2分間)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうですか、あなたは相手の抱えている悩みや不安に気づくことができましたか。また、相手はあなたの悩みや不安に気づいていましたか。 ⇒ファシリテーターは参加者に、ワークショップの感想を聞く。(2分間)</p> </div> <p>参加者の活動 様々な意見に耳を傾ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今から行き先の相談をもう一回行いたいと思います。その前に、外見からは分からない悩みや不安に気づくために、どのように話し合いを進めると良いと思いますか。少し考えてみてください。 ⇒参加者の反応を見ながら、各自で考えてもらう時間を数分程度とる。</p> </div>

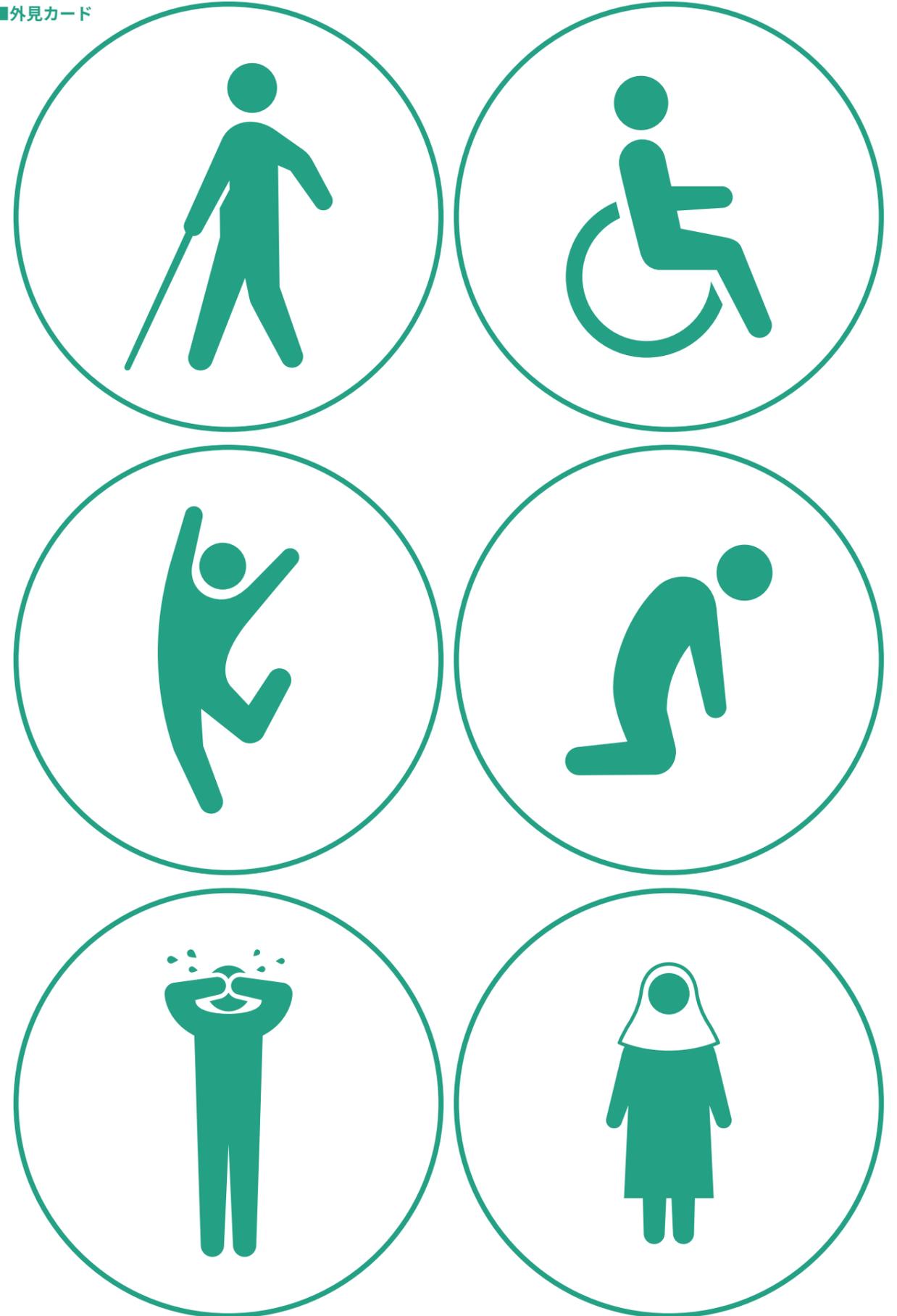
<p>行き先の相談 〈2回目〉 (5分)</p>	<p>内面カードの交換と行き先の相談(2回目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今からもう一度、行き先を決めていきたいと思います。外見カードは、先ほど自分が引いたものをそのまま使ってください。内面カードは、隣の班同士で交換をしてください。1回目とは別の内面カードを使ってもう一度話し合いを行いたいと思います。内面カードを交換したら1回目と同様に一人一枚内面カードを引いて、相手に内面カードを見せないでください。</p> </div> <p>参加者の活動 内面カードを隣の班と交換する。新しい内面カードを引き、再び行き先の相談を行う。(3分間)</p>
<p>一言振り返り 〈2回目〉 (8分)</p>	<p>一言振り返りの説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今から班のメンバーがどんな悩みや事情を抱えていたのか共有しましょう。後ほど、みんなで一斉に内面カードを見せ合うので、まずはカードを見せずに自分の班のメンバーがどんな悩みや不安を抱えていたか予想してみてください。</p> </div> <p>参加者の活動 内面カードの内容を互いに予想し合う。(2分間)</p> <p>内面カードの確認と振り返りの共有</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>それでは、今から一斉に内面カードを見せ合ってください。どうですか、先ほどと比べて、どんな変化がありましたか。 ⇒ファシリテーターは参加者に、ワークショップの感想を聞いてみる。(2分間)</p> </div> <p>参加者の活動 様々な意見に耳を傾ける。</p>
<p>ワークシートの記入 (4分)</p>	<p>振り返りシートの配布と記入</p> <p>参加者の活動 質問1、質問2について振り返りシートに記入する。(2分間)</p> <p>質問1 2回目に行き先を決めるときに、あなたはどんな事を心がけましたか。</p> <p>質問2 あなたの身の周りにも、人には言えない悩みや不安を抱えている人がいるかもしれません。それはどのような悩みや不安だと思いますか。</p>

学びの共有 (7分)	学びの共有 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">参加者の活動</div> 振り返りシートに書いた内容を班で発表して共有する。また、その感想を全体で発表してもらう。
まとめ (3分)	まとめ 本日のまとめを行い、振り返りシートに感想を書いてもらう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">参加者の活動</div> 振り返りシートにまとめを記入する。

行き先カード出典：「いらすとや」<https://www.irasutoya.com/>
「illust AC」<https://www.ac-illust.com>

外見カード出典：「ヒューマンピクトグラム2.0」<https://pictogram2.com/>
「illust AC」<https://www.ac-illust.com>

■外見カード



外見カード

外見カード

外見カード

外見カード

外見カード

外見カード

■外見カード





外見カード



外見カード



外見カード



外見カード



外見カード



外見カード

■行き先カード



海



お祭り



水族館



遊園地



動物園



ゲームセンター



おともだちの家



ボウリング

行き先カード

行き先カード



行き先カード

行き先カード



行き先カード

行き先カード

行き先カード

行き先カード

行き先カード

行き先カード

行き先カード

行き先カード

おお おと にがて
大きな音が苦手

おおぜい ひと こえ だいいんりょう おんがく
大勢の人の声や大音量の音楽な
き ばしょ ふあん
どが聞こえる場所だと、不安にな
しず い
る。静かなところに行きたい。

しず にがて
静かにしていることが苦手

しず ばしょ お つ
静かすぎる場所は落ち着かない。
きがる
気軽にいつでもおしゃべりできる
い
ところに行きたい。

おこづかい

じゆう つか かね
(自由に使えるお金)がない

かね つか ばあい ほごしゃ じぜん
お金を使う場合は保護者に事前に
そうだん いえ き かね
相談するのが家の決まり。お金を
つか ばしょ い
使う場所はなるべく行きたくない。

しがいせん
紫外線アレルギー

ひ や はだ なが し
日焼けすると肌がある。長い時
かん おくがい
間、屋外にはいられない。

こうしょきょうふししょう
高所恐怖症

たか ばしょ お つ ふあん
高い場所だと落ち着かず不安にな
たか ばしょ ちか
る。高い場所には近づきたくない。

ひとご にがて
人混みが苦手

しんがた かんせんかくだい
新型コロナウイルスの感染拡大が
しんばい ひと すく い
心配。人が少ないところに行きた
い。

あせ
汗をかきたくない

あせ しんばい
汗をかいたときのおいが心配で
き あせ
まわりを気にしてしまう。汗をか
あそ
かない遊びをしたい。

かんじ よ
漢字が読めない

まち なか かんばん あんないひょうじ
街の中にある看板や案内表示など
かんじ よ しめ
の漢字が読めない。示されている
い み わ だれ たす
意味も分からない。誰かの助けが
ひつよう
必要。

■内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

^{おくない にがて}
屋内が苦手

^{くら ところ}
せまいところや暗い所 がこわい。

^{と こ かん}
閉じ込められている感じがしてパニックになる。

^{あか かいほうてき}
明るく開放的な場所に行きたい。

^{おくがい にがて}
屋外が苦手

^{しがいせん ひや}
紫外線アレルギー。日焼けをする

^{はだ そと あそ}
と肌がある。外で遊ぶことを制限されている。

^{せいげん おくない すこ}
屋内で過ごすとき安心する。

^{かね つか}
お金をたくさん使いたくない

^ほ
どうしても欲しいものがある、貯金をしている。

^{ちよきん かね つか}
お金を使わない遊びがしたい。

^{どうぶつ}
動物アレルギー

^{おも いぬ ねこ ちか}
主に犬や猫に近づくと、くしゃみや鼻水が止まらなくなる。

^{はなみず と どうぶつ}
動物がい

^い
ないところに行きたい。

^{あんしょきょうふししょう}
暗所恐怖症

^{くら ところ お つ ぶん}
暗い所だと落ち着かず不安になる。

^{くら ばしょ ゆうがたおそ じかんたい}
暗い場所や夕方遅い時間帯に

^で
は出かけたくない。

^{の もの にがて}
乗り物が苦手

^{の もの の すつう の}
乗り物に乗ると頭痛がするなど乗り物酔いしやすい。

^{もの よ の もの の}
乗り物には乗

^り
りたくない。

^{すわ にがて}
ずっと座っているのが苦手

^{ちようじかん すわ}
長時間座っていると、ソワソワしてしまい落ち着かない。

^{お つ}
どうしても席を立ってしまう。

ハウスダストアレルギー

^{しつない びんかん}
室内のほこりにとても敏感。くしゃみや鼻水が止まらず、頭痛や体調不良

^{と すつう たいちようふりよう}
が起きやすい。

内面カード

内面カード

外で遊ぶのが
苦手

水が怖い

内面カード

内面カード

運動が苦手

動物が苦手

内面カード

内面カード

長時間歩きまわ
るのが苦手

お小遣いが
少ない

内面カード

内面カード

人が多い場所は
苦手

にぎやかな所は
苦手

内面カード

内面カード

室内で遊ぶのが
苦手

乗り物に
酔いやすい

内面カード

内面カード

大きな音が苦手

ずっと座ってい
るのが苦手

内面カード

内面カード

人の家には
行くなと親から
言われている

長時間、外で遊
ぶのは苦手

内面カード

内面カード

泳ぐのが苦手

お小遣いが
少ない

■内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

小学校では不登校だった。
友達はあるが、本音は言えず、常にみんなに合わせる。
室内で静かに過ごしたい。
△会話

5人兄弟姉妹、両親、祖父母の大家族。静かな場所が苦手。祖父母の介護をしなければいけないときがある。
△介護

重度アレルギー（動物、食べ物、ハウスダスト、薬剤）があり、親も過度に心配するので外出には消極的。
×アレルギー

父：中国／母：中国。
名前からも中国ルーツとわかる。日本語運用能力に問題なし。お小遣いが限られている。
×金銭

自分の性別に違和感があるので、人と同じ場所で着替えることが苦痛。異性と距離が近いことがとても苦手。
×着替え

運動は苦手。
スマホ依存がひどく、使用は1日1時間と制限されている。ゲームができないとイライラする。
△運動

難病あり。
日常生活に問題はない。長時間の歩行・運動は困難。緊急時に備え、病院の所在確認は必須。
×運動

ある宗教を信仰している。その活動に家族で参加するため、17時には帰宅しなければならない。
×帰宅時間が遅い

■内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

内面カード

インドからの留学生。寮生活。簡単な日本語ならわかる。1日5回お祈りの時間と場所が必要。

△日本語×夜間外出

父：イギリス／母：日本見た目は日本人。簡単な日本語しかわからない。混雑した場所が苦手。

△人混み△日本語

自分の性別に違和感があり、人前で薄着になることに抵抗がある。男女で区別される状況はとても苦手。

×男女区別

大きな手術の影響で、長時間の歩行、激しい運動が困難。外出の際には両親の承諾、もしくは付き添いが必要。

×運動

スポーツが大好きで、平日放課後、土日も練習がある。土日午後ならば遊ぶことができる。室内で過ごすことは苦手。

勉強が苦手。放課後も塾に行っていて、平日は遊べない。結果が出ないので、自分に自信が持てない。

×勉強

両親共働き。小学生の弟と妹がいる。妹はまだ小さいので、遊びに行くときには連れていくか、自宅で遊ぶ。

△金銭×夜間外出

会話が苦手大きな音が苦手
でイヤークフを付けている。
肌も敏感なので薄着ではいられない。

△肌過敏×大きな音



ワークショップづくり、実践などについて 教員に伝えたい!

森倫範

ワークショップづくりはとても楽しいです。仲間と目標を果たすワークを作ることは是非経験して欲しいです。実践は自分と学生との対話や気づきを生み出す貴重な時間です。学生達の未来を考え、必要な気づきができるように道筋を立てていける経験は、とても有意義な作業ですのでお勧めです。

三枝涼輔

業務ではなく、思いをもって集まっているので、熱量がすごいです。色々な職種、立場の先生が集まるからこそ、学びも多いし、化学反応が起きます。作業の中で忘れてはいけないのが、WSは目的ではなく、手段です。WSを考え、ていく上で核がぶれないよう、全員で確認し合いながら進めてください。

渡辺香

「多文化共生」という答えのない大きなテーマだからこそ、私たちは、理想の状態を語り、そして現状に隠れる課題を洗い出し何度か議論を重ねました。そして少しでも理想の状態に向かって前進できるようなきっかけをつくりたいという願いを込めてワークショップを作り、授業実践を行いました。

鳥原大嗣

ワークショップを作成するうえで、どんなことを気づかせたいかという趣旨がぶれてしまうというものにならないと思います。ワークショップを作成する過程は、自分自身が何を大切にしたいのか、何を子どもたちに気づかせたいのかを改めて見つめ直す良いきっかけとなりました。

小島寛子

ワークショップだからこそ伝わりやすいことがあると、今回実践して改めて感じました。準備に手間がかかりそうと敬遠せずに、長期休み等を利用して準備し是非実践してみたいです。周りの先生達と協力するのもおすすめです!

菊池史織

ワークショップ作成は試行錯誤の連続です。手段が目的となっていないか、目的に対してこのアプローチで良いのか、大切にしたい想いは何か、常に考えているはずなのに正解がないからこそ悩みは尽きません。しかし、信頼できる仲間とチームを組み、より良くするために取り組むことはこの上ない喜びです。

金城裕哉

このワークショップは万能ではありません。クラスや学校の実態に応じてカードを作り直してもルールを少し変えても構いません。ワークショップを経験したり、更新したりすること自体が、物事を多面的にとらえること、他人事を自分事に置き換えて行動することのきっかけになると気付きました。



ご協力いただいた皆様

- ・かながわ開発教育センター (K-DEC)
- ・小野行雄氏 (かながわ開発教育センター)
- ・公益財団法人海外日系人協会
- ・横浜市立北上飯田保育園
- ・太田亜理佐氏
- ・公益財団法人横浜市国際交流協会鶴見国際交流ラウンジ
- ・JICA 横浜教師海外研修過年度参加者の皆様

スタッフ

- ・JICA 横浜 石亀敬治
- ・JICA 横浜 中野貴之
- ・株式会社メディア総合研究所 (2021 年度運営事務局)



独立行政法人国際協力機構
横浜センター (JICA 横浜)

〒231-0001 横浜市中区新港2-3-1

Tel : 045-663-3220 (直通)

Fax : 045-663-3265

E-mail : yictpp@jica.go.jp

<https://www.jica.go.jp/yokohama/>



